

[http://www.reliefweb.int/rw/rwb.nsf/db900sid/EGUA-76HRVS?OpenDocument&rc=3&e\\_mid=FL-2007-000126-PRK](http://www.reliefweb.int/rw/rwb.nsf/db900sid/EGUA-76HRVS?OpenDocument&rc=3&e_mid=FL-2007-000126-PRK)

朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)の水害に関する本報告書は国連機関や国際赤十字連盟、国際NGOと朝鮮民主主義人民共和国政府、OCHA アジア太平洋地域事務所(ROAP)から得た情報に基づいている。

### 被害状況

1. 2007年8月7日から14日にかけて大水害が朝鮮民主主義人民共和国の首都ピョンヤンと9道149郡を襲った。江原道および黄海道、咸鏡南道、平安道、両江道、慈江道で洪水により100万名に近い人々が何らかの被害を被り、17万名に近い人々が家を失った。
2. 8月24日に政府が発表した情報では、少なくとも454名が死亡し、156名が行方不明、4350名以上の負傷者が発生した。中央統計局によると全壊した家屋は40,463軒、浸水は133,762軒、67,056軒の損壊を数えた。
3. 国営通信社の朝鮮中央通信(KCNA)は、異常なまでの豪雨とそれに続く水害により、学校や病院など8,000棟の公共施設が全壊もしくは半壊したと伝えている。
4. 伝えられたところによると、洪水の水位はほとんどの地域で低下している。しかしながら河川や地下水の水位は依然異常に高く、とりわけ南部の水田は浸水したままであり、収穫が更に失われつつある。天気予報はこの先も雨が降ると伝えている。

### 政府の対応

1. 朝鮮政府は引き続き市民や軍隊を動員して被災地の復旧支援や情報収集を行っている。復旧作業は国防委員会(NDC)の指揮のもと行われている。国連および赤十字、PSUが地元当局の取り組みを支援している。
2. 朝鮮赤十字会(RCS)が1万4千名以上のボランティアを動員し、被災地の調査のほか、危険地域の監視や住民の避難、救助、応急処置を行っている。
3. 政府が被災者用に避難所を用意している。8月24日に韓国政府が避難設備や建築資材、重

